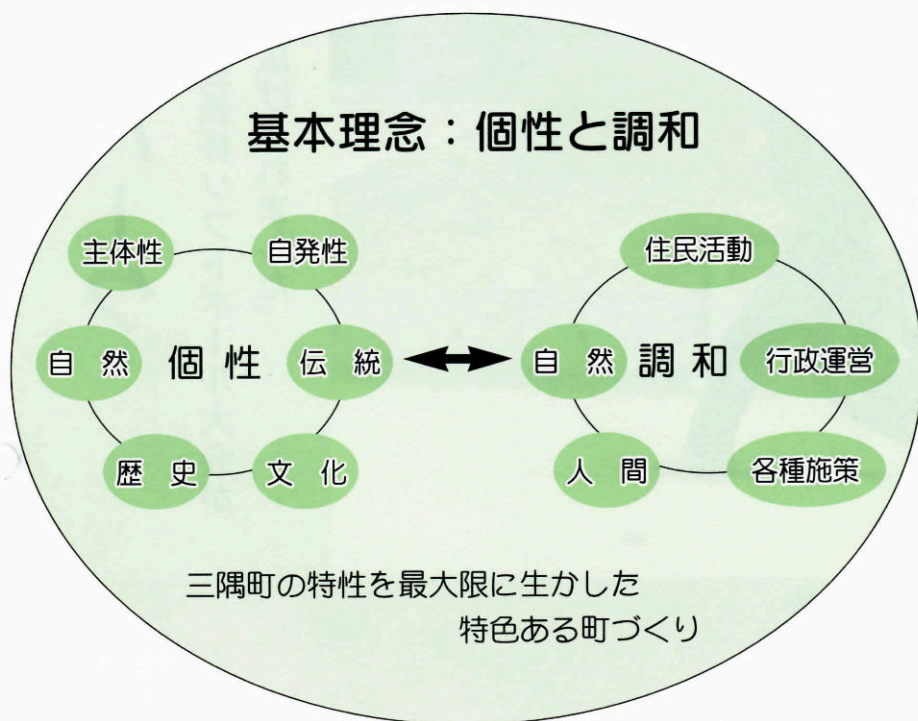
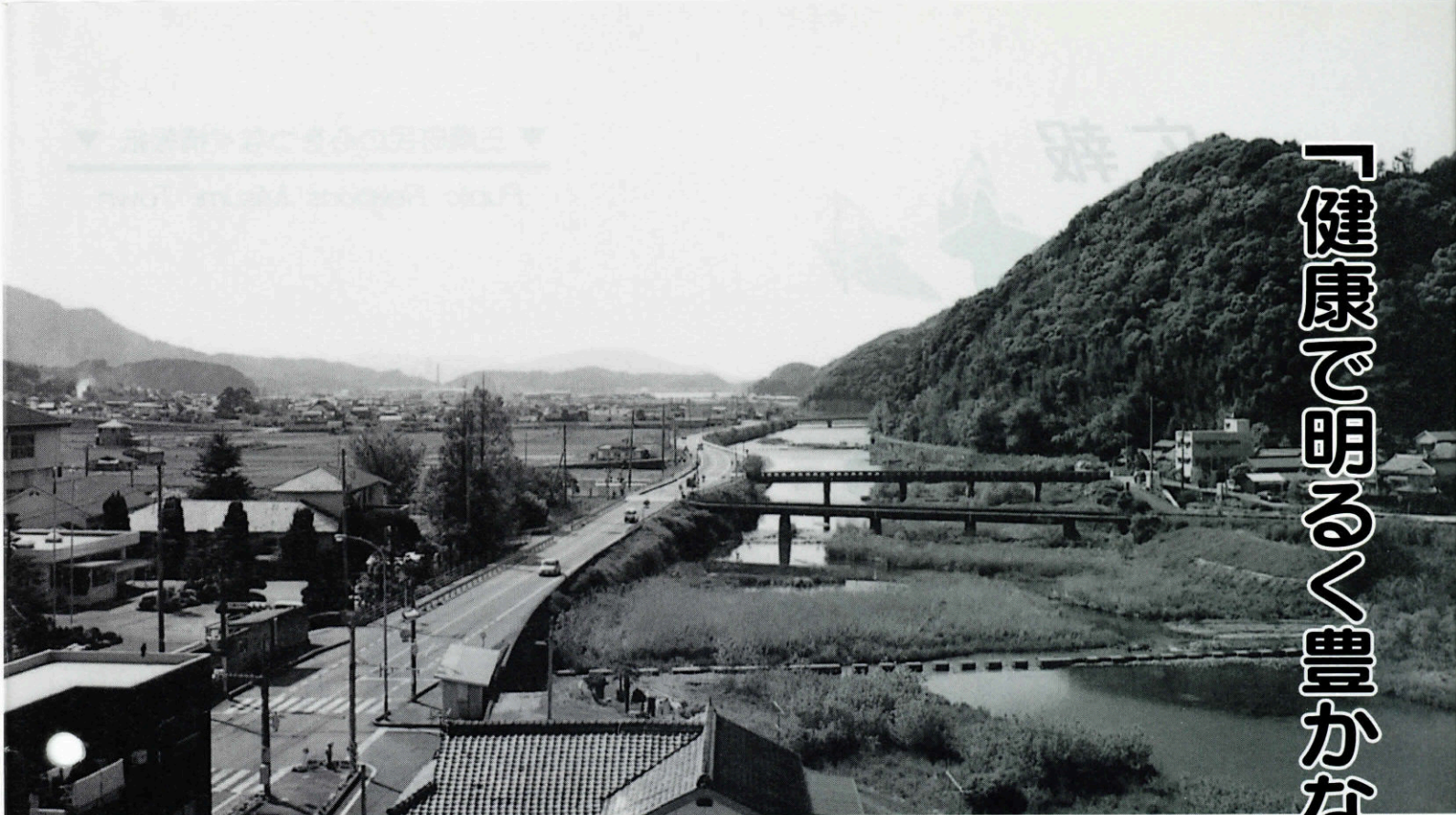


「健康で明るく豊かなふれあいのまち」をめざして

第3次三隅町総合計画の概要

少子高齢化の傾向がより高まり、一方では高度情報化の波がおし寄せ、また地方分権が進む現在、三隅町のまちづくりをどのように進めていくべきか――。

町では、町民意識調査、各種団体のグループインタビューを実施し、中学生の作文、商工会・農業関係者からの提言書提出を受け、また基本構想策定委員会を開催するなど、町民の声を多くとり入れた基本計画となるよう策定作業を進めてきました。
平成13年3月の定例議会においての「第3次三隅町総合計画」議決を受けて、いよいよ新しい三隅町のまちづくりがスタートします。



『個性』とは自然環境をはじめとする町の特異性そのものに加えて、町民の自発性や主体性をも含む意味を込めたものです。

『調和』とは自然との共生を目指し、町民主体活動と行政運営との一体化、また各種施策の推進が全体としてのバランスを保持し、計画との整合性も保つことを意味しています。